

令和4年度 予算施策評価表

様式1

施策名	高齢者にやさしい福祉社会づくり				予算施策コード	hf15	
担当部局名	保健福祉部	生きがい推進局	長寿介護課	評価責任者	課長 宮崎 浩志	連絡先	3705

1 施策の内容

施策の目標	高齢者が、住み慣れた地域で、生涯にわたり生きがいをもって愛顔で生き生きと暮らせる共生社会づくりを推進する。
-------	---

これまでの取り組み	<p>高齢の健康づくりや社会参加を促進するため、各地域の老人クラブの自主的な活動への支援、学習の機会の創出やスポーツ活動を通じた生きがいづくりのため、高齢者大学校の開催や全国健康福祉祭(ねんりんピック)への参加者派遣等を実施するとともに、地域の介護力向上のため、在宅介護研修センターにおいて、一般県民を対象とした介護に関する研修を実施し、介護に関する知識の普及を行っている。</p> <p>また、安心して暮らせる環境の整備としては、居宅において生活することが困難な高齢者が低額な料金で利用できるよう、軽費老人ホームに対して事務費減免額分の補助を実施しているほか、高齢者虐待に対応する職員に対する研修の実施や、生活上の悩みや福祉制度に対する相談窓口を設置している。</p>
-----------	---

成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	要介護を受けていない人の割合				B	100歳長寿者の祝状贈呈者数					
選択理由	65歳以上の者の数のうち、介護保険の要介護認定を受けていない者の数が占める割合。高齢者が「自立して健康で活動的に生活」している度合いを示す数値で、施策効果の客観的な評価が可能な指標。				選択理由	地域で健康長寿を実践されている方の数であり、施策効果の客観的な評価が可能					
算定方法	65歳以上で介護認定を受けていない高齢者数 / 65歳以上の高齢者数 × 100				算定方法	市町からの報告値					
成果と指標の関係	中	指標の種類 (ストック/フロー)	フロー	指標の種類 (プラスマイナス)	+	成果と指標の関係	中	指標の種類 (ストック/フロー)	フロー	指標の種類 (プラスマイナス)	+

指標・事業費・人件費の推移												
区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	%		%	人		%	千円					
2年度	78	79	101.3%	674	646	95.8%	905,805	12,578	133,469	759,758	750,515	38,232
3年度	78	79	101.3%	734	717	97.7%	815,254	12,258	39,832	763,164	753,240	32,670
4年度	78	79	101.3%	739	697	94.3%	907,338	11,765	48,176	847,397	859,891	130,772

2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	超高齢社会を迎えた中において、高齢者が能力に応じ自立し、健康的で活動的な生活を送ることができるよう、高齢者の知識や経験を生かせる環境づくりを進めるとともに、介護等が必要となっても、住み慣れた地域で暮らし続けることができるように、地域全体で、高齢者を支える社会づくりを推進していくことが、重要な課題となっている。 また、県は、老人福祉法や介護保険法に基づき、市町(保険者)が実施する老人福祉事業及び介護保険事業が円滑に進むよう、高齢者保健福祉計画及び介護保険事業支援計画を策定することとなっている。						
高い									
成果指標A		説明	後期高齢者が増加する中、介護を必要とせず健やかに暮らせることを目指すため、令和3年3月に策定した「高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」における推計値以上にすることを目標とする。 県民が要介護状態とならず、生きがいをもって健康に過ごせることが望ましく、継続して取組みを進める必要があるため、最終目標を設定することは適当でない。						
成果動向	順調・向上								
成果向上余地	成果向上が可能								
成果指標B		説明	後期高齢者が増加する中、いつまでも元気で生きがいをもって暮らしている方の数であり、高齢者に優しい福祉社会づくりの関連施策を実施することで、1人でも多く対象者が増えることを目標とする。 県民が要介護状態とならず、生きがいをもって健康に過ごせることが望ましく、継続して取組みを進める必要があるため、最終目標を設定することは適当でない。						
成果動向	順調・向上								
成果向上余地	成果向上が可能								
参考：構成事務事業の評価の平均値		成果動向	2.00	順調・向上		成果向上余地	1.64	成果向上が可能	

4 明るい長寿社会づくり推進事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり							
指標種類1	指標名称1			計画	50	35	42			予算	事業費計	25,442	27,008	27,305	37,550	評価	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
成果	+	70-	高齢者大学の修了者数	人	実績	中止	28				26	国費	256	256	256					256	新型コロナウイルス対策のため、開催規模を縮小して実施したことにより、参加者数は増加していないものの、修了者からは好評を得ており、高齢者の生きがいづくりに繋がっている。				
					達成率	-	80.00%				61.90%	その他		160	160					160					
					指標種類2	指標名称2					計画	558	522	522	事業費計					15,595		18,637	25,043		
成果	+	70-	高齢者大学の修了者による自主活動延べ参加者数	人	実績	522	447				5月末判明	国費	322	256	256					見直し方向性		方向1	見直し(拡大・縮小・執行方法の改善等)		
					達成率	93.55%	85.63%				-	その他		2,987	3,830								方向2		
指標種類3	指標名称3			計画	60	42	42			事業費計	15,273	15,394	20,957	方向3											
活動	+	70-	高齢者大学の受講決定者数	人	実績	中止	30			34	人役	0.2	0.2		ねんりんピック愛顔のえひめ2023の開催にあたり、本県選手団の数を例年の3倍(600人)に増加させる。										
					達成率	-	71.43%			80.95%	人件費	1,354	1,210												
実施 期間	始期	終期	事業の概要																						
	H2	予定・見込があれば記入	高齢者の生きがい・健康づくりのための高齢者大学の開催や、全国健康福祉祭(ねんりんピック)への選手団派遣に対する助成のほか、高齢者が安心して暮らせるよう、高齢者相談窓口の設置や、現任介護サービス相談員や高齢者虐待対応職員の育成を行う																						

5 地域の介護人材参入・定着促進事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり							
指標種類1	指標名称1			計画	40	40	40			予算	事業費計	17,191	17,191	17,191	17,191	評価	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
成果	+	70-	介護助手育成者数	人	実績	39	44				36	国費									新型コロナウイルスの影響により実績は前年度比減となっているが、確実に事業を実施し、一定数の介護現場への継続雇用につながった。※特定の原因(コロナ)のため、成果は横ばいとしている。				
					達成率	97.50%	110.00%				90.00%	その他	17,191	17,191	17,191					17,191					
					指標種類2	指標名称2					計画	100	100	100	事業費計					13,889		15,589	15,891		
活動	+	70-	介護に関する入門的研修の受講者数	人	実績	63	62				40	国費								見直し方向性		方向1	このまま継続		
					達成率	63.00%	62.00%				40.00%	その他	13,889	15,589	15,891								方向2		
指標種類3	指標名称3			計画	100	100	100			事業費計	13,889	15,589	15,891	方向3											
活動	+	70-	介護員養成研修受講促進事業助成者数	人	実績	59	95			85	人役	0.15	0.1	0.1											
					達成率	59.00%	95.00%			85.00%	人件費	1,015	605	598											
実施 期間	始期	終期	事業の概要																						
	H28	予定・見込があれば記入	多様な人材を補助的な介護業務の担い手として新たに育成し、また、補助的業務従事者に介護員養成研修を受講させることにより、労働環境の改善、離職防止等を図る																						

6 働く家族の介護力強化事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	2成果低迷している	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり							
指標種類1	指標名称1			計画	1280	1280	1000			予算	事業費計	15,789	15,789	15,786	15,786	評価	2成果低迷している	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
成果	+	70-	セミナー受講者数	人	実績	69	85				209	国費									新型コロナウイルスの影響により、出前セミナーのみ開催。主催セミナーは中止したが、代替案として「仕事と介護の両立」動画を作成・オンラインで配信し、介護情報の発信に取り組んだ。R5は、集合とオンライン配信のハイブリッド型のセミナーやシンポジウムを開催する予定。				
					達成率	5.39%	6.64%				20.90%	その他	15,789	15,789	15,786					15,786					
					指標種類2	指標名称2					計画	70	70	70	事業費計					15,786		15,786	15,755		
成果	+	70-	セミナーの満足度	%	実績	93	97				79	国費								見直し方向性		方向1	このまま継続		
					達成率	132.86%	138.57%				112.86%	その他	15,786	15,786	15,755								方向2		
指標種類3	指標名称3			計画	47	41	31			事業費計	15,786	15,786	15,755	方向3											
活動	+	70-	セミナー開催回数	回	実績	3	5			10	人役	0.2	0.1	0.1											
					達成率	6.38%	12.20%			32.26%	人件費	1,354	605	598											
実施 期間	始期	終期	事業の概要																						
	H28	予定・見込があれば記入	働く家族に対する介護力強化セミナー等を開催し、介護や生活支援の担い手を養成するとともに、企業間のネットワークを構築し、相談・支援体制の充実を図る。																						

7 ねんりんピック開催準備事業費			指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
指標種類1	指標名称1		単位	計画		8	8		事業費計 8,421 国費 0 その他 0 県費 8,421	8,421	12,786	99,778	1,594,254	評価 令和4年度は、新型コロナウイルスの影響を受けながらも、実行委員会等会議の着実な開催、開催要領の作成、機運醸成のための広報活動、大会ボランティアの募集、式典実施計画、イベント実施計画、交流大会開催準備の推進、輸送要綱等の作成等の準備を着実に進め、成果指標を達成することができた。			
成果	+	70-	実行委員会、常任委員会、専門委員会の開催回数	回	実績	4	8	8		111,000							
					達成率	-	100.00%	100.00%									
指標種類2	指標名称2		単位	計画			35			8,004	12,451	99,116	1,483,254				
成果	+	70-	広報キャラバン隊活動回数	数	実績		35		国費				見直し 方向性 方向1 このまま継続 方向2 方向3				
					達成率	-	-	100.00%									
指標種類3	指標名称3		単位	計画		20	20		8,004	12,451	99,116						
活動	+	70-	県内市町ヒアリング回数	事業	実績		1	20	人役	3.2	3.1	18.2					
					達成率	-	5.00%	100.00%	人件費	21,652	18,755	108,673					
実施期間	始期	終期	事業の概要														
	R元	R5	高齢者等の健康と福祉の祭典である全国健康福祉祭(ねんりんピック)は、令和5年度に本県では初の開催が決定しており、高齢者等の健康の保持・増進、社会参加、生きがいの高揚等を図るため、大会の成功に向けて着実に開催準備を進める。														

8 在宅介護研修センター運営費			指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり
指標種類1	指標名称1		単位	計画	10000	10000	10000		事業費計 45,516 国費 0 その他 489 県費 45,027	45,516	45,516	45,769	89,433	評価 新型コロナウイルスの影響により実績は落ち込んだものの、オンライン研修の実績が徐々に増えてきているところ。※特定の原因(コロナ)のため、成果は横ばいとしている。			
成果	+	70-	研修センターが実施する研修の参加者数	人	実績	4319	7321	7287		0	0						
					達成率	43.19%	73.21%	72.87%		489	550	543	604				
指標種類2	指標名称2		単位	計画	2.5	2.5	2.5			45,027	44,966	45,226	88,829				
成果	+	70-	研修参加者の研修内容の理解度(受講者アンケートによる)	%	実績	2.51	2.52	2.55	事業費計	45,516	45,516	45,769	見直し 方向性 方向1 このまま継続 方向2 方向3				
					達成率	100.40%	100.80%	102.00%	国費								
指標種類3	指標名称3		単位	計画	326	223	277		14,592	10,880	6,929						
活動	+	70-	研修センターが実施する研修の開催回数	回	実績	233	421	464	30,924	34,636	38,840						
					達成率	71.47%	188.79%	167.51%	人役	0.4	0.4	0.4					
実施期間	始期	終期	事業の概要														
	H16	予定・見込があれば記入	増大する介護給付費を抑制しつつ、高齢者一人ひとりの尊厳を支えるケアを確立するため、広く一般県民を対象として実践的研修を実施する「在宅介護研修センター」を運営管理し、本県の介護の質の向上及び地域の介護力強化を図る。														

9 老人週間事業費			指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位:千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	3成果横ばい	向上 余地	1成果向上余 地が小さい
指標種類1	指標名称1		単位	計画	674	734	739		事業費計 1,332 国費 0 その他 0 県費 1,332	1,332	1,432	2,403	2,616	評価 高齢者福祉関係功労者知事表彰に係る表彰式は、感染症対策を講じた上で、2年ぶりに県老人クラブ大会の中で執り行った。長寿者訪問については、感染拡大防止の観点から、特別職の訪問は中止したものの、祝状の贈呈は郵送等により対象者に贈呈した。			
成果	+	70-	100歳長寿者の祝状贈呈者数	人	実績	646	717	697		0							
					達成率	95.85%	97.68%	94.32%		1,332	1,432	2,403	2,616				
指標種類2	指標名称2		単位	計画	15	15	15			1,225	836	1,815					
活動	+	70-	高齢者福祉関係功労者知事表彰状贈呈者数	人	実績	15	15	15	国費				見直し 方向性 方向1 このまま継続 方向2 方向3				
					達成率	100.00%	100.00%	100.00%	1,225	836	1,815						
指標種類3	指標名称3		単位	計画	674	734	739		0								
活動	+	70-	100歳長寿者の祝状贈呈者数	人	実績	646	717	697	30,924	34,636	38,840						
					達成率	95.85%	97.68%	94.32%	人役	0.5	0.5	0.5					
実施期間	始期	終期	事業の概要														
	S47	予定・見込があれば記入	老人週間(9月15日~21日)に、長寿者(100歳)を訪問し祝状等の贈呈を行うほか、敬老意識の高揚、啓発を図るため老人の日・老人週間ポスターの印刷・配布を行う。また、地域の高齢者福祉活動で顕著な功績がある方に対し知事表彰を行う。														

10 在宅介護研修センター体験型介護研修事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	2成果低迷している	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり						
指標種類1	指標名称1			単位	計画		3687	/		予算	事業費計	0	0	6,704	5,358	評価	新型コロナウイルスの影響により、体験型介護研修の申込みが伸び悩んだが、VR等の活用やセンターの特色を生かした研修内容に対する参加者の評価は高かった。R5年度は、R4年度で得た実績を元に効果的な広報や取組み方法を見直し、来場者の増加と認知度向上を図る予定。							
成果	+	70-	センターの来場者数	人	実績		1286				国費										方向1	このまま継続		
					達成率	-	-				34.88%	その他		6,704	5,358									
					指標種類2	指標名称2					単位	計画		16	決算					事業費計				
活動	+	70-	研修の開催回数	回	実績		8				国費										方向3			
					達成率	-	-				50.00%	その他		5,851										
					指標種類3	指標名称3				単位	計画			人役			0.2							
実施 期間	始期	終期	事業の概要	実績						人件費			1,195											
				達成率	-	-	-																	
				R4	R5	新型コロナウイルス感染症により来場者が落ち込んだことから、VRや介護ロボットの活用の他、センターの建物の特色を活かした体験型介護研修を開催することで、来場者の増加と認知度向上を図る。																		

11 ねんりんピックシニア元気づくり事業費				指標動向	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	最終目標 (R?)	コスト (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	2一定の成果向上余 地あり					
指標種類1	指標名称1			単位	計画		10	/		予算	事業費計	0	0	7,698	14,912	評価	新型コロナウイルスの影響を受けながらも、高齢者福祉施設職員を対象とした講習を踏まえて、施設間をオンラインでつないだシニア交流会を着実に実施した。また、大会参加者に魅力あるツアーを提供するため、シニア層のニーズや現状を把握するためのニーズ調査を実施した。						
成果	+	70-	eスポーツシニア交流会の参加施設	施設	実績		10				国費									方向1	このまま継続		
					達成率	-	-				100.00%	その他		7,698	14,912								
					指標種類2	指標名称2					単位	計画		1	決算								
成果	+	70-	シニア向けツアーニーズ調査の実施回数	回	実績		1				国費									方向3			
					達成率	-	-				100.00%	その他		5,487									
					指標種類3	指標名称3				単位	計画			人役			1.4						
実施 期間	始期	終期	事業の概要	実績						人件費			8,360										
				達成率	-	-	-																
				R4	R5	ねんりんピックえひめ大会を契機として、eスポーツを活用し、新しい生きがいづくりと健康づくりを推進するとともに、大会参加者の観光を促進するための旅行商品を造成し、今後のシニア層の観光活性化による社会参加促進につなげる。																	

4-2 事務事業管理シート（評価対象外事業）

予算施策名

hf15

高齢者にやさしい福祉社会づくり

1 高齢者施策推進基金積立金	コスト (単位：千円)						コスト (単位：千円)			
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R2年度		R3年度	R4年度		
評価対象外の理由	事業費計	100,000	100	94	80	事業費計	100,000	12	11	
その他	国費					国費				
評価対象外その他の理由(記述)	その他	100,000	100	94	80	その他	100,000	12	11	
利息等を積立てる基金であり、性質上、事務事業評価の対象ではない。	県費					県費				
						人役				
						人件費				